

罪滅ぼしを始めて10年目

「金貸しの手代は地獄に落ちる」という旧約聖書の言葉を知り、30数年の銀行員生活にピリオドを打ちました。

金融機関の内情を知らずして金融機関と取引をすることは怖いもの知らずのすることです。現在、仲間5人で全国からのご相談に日々お応えしております。

10年目に感じることは、いかに経営者が金融機関の事を知らなさすぎだと思えます。

ビジネスの相手の事は調べて取引するのに、金融機関の事は調べもしない。

経営者は金融機関が何を考えているかが理解できない。

素人相手に金融機関は利己主義的な行動を取る。そのことも感じない。

金融機関は金持ち大好き

今、政府は金融緩和政策で市場へ資金を流せと云っている。しかし、「金融機関は融資する先がない」と悩んでいる。

現実には、融資を希望するところには、金を貸さない。

では、企業経営者は金融機関が貸したくなるように振舞っていますか？

貸してもらえるようにしていますか？

意外と何をしたらいいかも分かっていない。

金融機関の事を誰に聞くのでしょうか？

金融の事を専門外の先生に聞いて分かるわけがありません。

もちろん、銀行員に聞いても本当のことは話さない。

じゃ元銀行員ならいいか、飛んでもない、銀行員でも本部経験と管理部、金融庁対応の経験者でないと分かるわけがない。単なる元銀行員では本部の操り人形でしかないのです。

銀行取引に関する事を聞くなら、金融庁、銀行本部の考えが理解できる者に聞くことです。

私は、銀行員として30数年の経験の中で、支店長6店舗、本部管理部責任者、金融庁対応を経験しています。金融機関の裏の裏まで知りつくしているのです。

当社の強味

当社はコンサル5名全員が支店長、管理部責任者、本部責任者を歴任しています。

他社にはない強みです。

企業理念

「銀行員時代の罪滅ぼし」

目標

「1社でも多くの企業を助けて日々徳を積むこと」

ポイント

金融機関の目線で決算書は作っていますか？

融資取引を希望するなら金融機関の立場に立って相手が欲しがる形式の資料を作るべきです。

業況悪化を想定したリスク管理をしていますか？

企業防衛、自己防衛を考えていますか？

もし、金が返せないからと云って、安易に自己破産や自殺をしないで欲しいです。

しょせん金の話です。何とかあります。

ぜひ、当社へご相談ください。

初回相談は無料です。

健全取引術や再生シナリオもお教えします。